

教材名「インターネット通販」

目 標

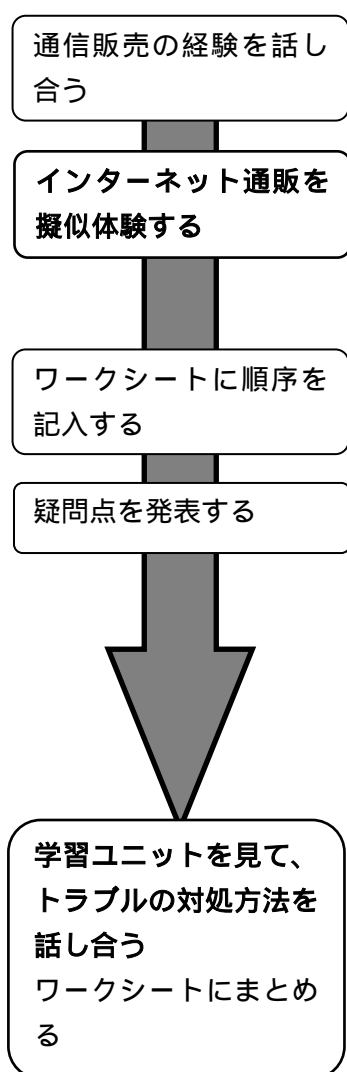
- ・情報伝達の安全性とマナーを考えて日常生活に生かすことができる。
- ・インターネット通販の擬似体験を通して通信販売の基本的な知識と情報を判断する力を育成する。

コンピュータを活用する利点

教科書にない情報を見る事ができ、より深い学習ができる。

高品質な画像・映像・音声をインターネットから資料として使う事で生徒の興味・関心を高めやすい。また、最新の情報を提示する事ができる。「ネット社会の歩き方」内の学習ユニットを使用することで、生徒の意識の向上や知識理解を深めることができ、学習目標の達成をより高めることができる。

授業の流れ



ICT 活用場面

インターネット通販の擬似体験の教材は財団法人コンピュータ教育開発センター「ネット社会の歩き方」< 電脳商店街 > を利用した。<<http://www.cec.or.jp/net-walk/>>



体験は、1時間で行えるように、順序に間違いがないか等、2人で協力して取り組ませた。

学習ユニットは「ネット社会の歩き方」の中の学習ユニットを利用し、ネット通販でのトラブルの対処方法を考えさせ、話し合わせた。何がトラブルの原因だったのかを考える事で、多様な状況に対処できるようになるための情報を判断する力の育成をめざした。

成果と課題

実際に擬似体験できる教材を利用して知識だけでなく、体験をすることでより効果的に生徒は学ぶことができたように思う。生徒の授業後の感想の中には、この授業を通して初めて知ったことがたくさんあったので学習してよかったという感想が多かった。実際の被害について新聞記事で調べる等、いかに現実の問題としてより強く認識させるかという課題を残しつつ一定の成果をあげたと考えている。この授業で学んだことを実際の生活で生かすためには、一般社会におけるルールや心構えが基本となるので、今後は学級活動・道徳や他教科と連携をとり、生徒の意識を高めるようにしたい。

ICT 活用環境等

使用周辺機器	生徒用コンピュータ 40台 プロジェクタ
使用ソフト名	Internet Explorer
使用教室	コンピュータ室